

公開授業略案

学年	ひまわり学級	教科	生活科	授業者	香川信博
単元名	わたしのまち 大すき				
本時のねらい	給食センターの人と仲良くなったことを仲間に分かりやすく紹介することができる。 仲間の発表から、給食センター以外にも、仲良くなりたい人を見つけ、地域の人に親しみをもつことができる。				
つかむ ( 提示・課題化 )	展		開		
	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 評 価		
追 究 す る ( 個人追究・集団追究 )	1、前時までの振り返りをする。		・探検したところを地図で示して興味をもたせる。(地図がわかるよう、地図の見方を事前に指導しておく。)		
	2、学習のめあてを確認する。		・めあてが違うので、課題を机の上に貼る。		
ま と め	《はっぴょう》きゅうしょくセンターの人となかよくなったことをみんなにわかりやすくはっぴょうしよう。 《きく》じぶんもなかよくなりたい人を見つけよう。				
	3、発表グループ別に前に出てきて発表する。		・給食センターで興味をもって体験したことを、具体的に、はっきりとした、わかりやすい言葉で、みんなに知らせることができる。(動作・絵・道具・言葉の大きさと抑揚、間)・・・事前の練習を十分行っておくことで、わかりやすい発表ができるよう事前の支援を意図的に行う。 【関・意・態】 (発表・ふり返りカード)		
ま と め	・郵便局グループ ・「葉書にスタンプを押させてもらったよ。」 ・「郵便局の車やバイクは車庫に置いてあった。」 ・道の駅グループ ・「道の駅で売り子さんになってお客さんにあいさつをしたんだよ!」 ・「道の駅の人とお土産をきれいにならべたよ。」 ・デイサービスグループ ・「おばあちゃんといっしょにお手玉やカルタをしてきたよ。」 ・「おじいちゃんに昔の話をしてもらったよ。」 ・給食センターグループ ・「ものすごくたくさんのお皿を洗っていたよ。」 ・「大きななべやかまで給食を作るんだな。」 ・「大きな機械で洗い物をしていたよ。」		・友達の発表を聞いて、給食センター以外にも地域の人に興味を持ち、親しみをもつことができる。(誰のどんなところに興味をもったかを担任に話せるように支援する。) 【気づき】 ・友達の発表から、誰と仲良しになりたいのか、どんなことをやってみたいのかを選ばせる。		
	4、質問タイム(発表後グループごとに)		・「手紙は、遠いところまでどうやって運ぶのですか。」 ・「道の駅では、どんなものが売られているのですか。」 ・「車椅子の人は、どうやってふるに入りますか。」		
ま と め	5、ふりかえりノートに自分もなかよしになりたい人を書き、発表する。		・疑問に思ったことを質問できるように支援する。(質問の内容を発表の前に言わせる。手をまっすぐに挙げ、はっきりと話させる。) ・なかよしになりたい人について、文章で表せるよう支援する。(語ったことを、担任が短くまとめ、書かせる。正しく書けるか見守る。) ・事前に一度話させ、自信をもたせたうえで、発表させる。手をまっすぐに挙げ、はっきりとした言葉で話させる。) ・地域の人に親しみを持つことができた姿を称賛する。		
	6、めあてを振り返り、カードに書く。		・めあての2つの視点をふり返らせる。		